

荷主向け物流セミナー

これからの物流の 在り方を考える

物流業界においては、昨年4月から時間外労働の上限規制が適用となり、物流の停滞が懸念される中、いわゆる物流の「2024年問題」が大きな問題とされています。

この「2024年問題」は、喫緊の課題であると同時に、年々深刻化していく構造的な課題であるため継続的に対応していく必要があり、トラック事業者だけでなく、荷主企業をはじめ、サプライチェーン全体で考え、取り組んでいくことが重要となります。

本セミナーは、物流業界の現状と課題、関係法令、荷主企業の物流効率化の先進事例の紹介等を通して、これからの物流の「在り方」を考える契機としていただくことを目的に関係省庁と連携して開催するものです。



令和7年 **3月6日** (木)

13:30～16:30

場所

TKPガーデンシティ
PREMIUM天神スカイホール

福岡市中央区天神1-4-1
西日本新聞会館16階

参加費

無料

定員

200名(先着)

申込期限

令和7年3月5日 12:00

申込フォーム

<https://event.event-planner.net/event/ymvbx68u>

主催：経済産業省九州経済産業局、農林水産省九州農政局、国土交通省九州運輸局、公正取引委員会事務総局九州事務所

プログラム

第1部

13:30～15:00

物流をとりまく現状と関係法令について

- 1 経済産業省における物流問題に向けた取組と適切な価格転嫁について(九州経済産業局)
- 2 九州における農産物物流の取組について(九州農政局)
- 3 トラック事業の情勢と国土交通省の取組について(九州運輸局)
- 4 物流取引公正化に向けた取組について(公正取引委員会事務総局九州事務所)
- 5 質疑応答

第2部

15:10～16:30

事例発表

- 1 福岡運輸(株)
- 2 北九州青果(株)
- 3 (株)再春館製菓所
- 4 質疑応答

